

導入マニュアル

確認申請図解説



はじめに	2
1 平面図	3
1-1 部材のプロパティ設定	3
1-2 凡例表付き用紙枠の配置	8
1-3 平面図の配置	9
2 床面積求積図	10
2-1 申請面積の入力	10
2-2 床面積求積図・表の配置	12
3 断面図	14
3-1 地盤面の算定	14
3-2 階数・高さ確認	15
3-3 断面図の配置	16

はじめに

このガイドでは、次図のような確認申請用の図面を作成するポイントを紹介します。

1-1 部材のプロパティ設定

1-3 平面図の配置

1-2 凡例表付き用紙枠の配置

凡例/記号	示す内容
—	防火区画
—	防煙区画
.....	防煙垂れ壁
—	防火上主要な間仕切壁
(3m)・(5m)	延焼の恐れのある部分
[特]	常時閉鎖式特定防火設備
[特]s	常時閉鎖式特定防火設備 遮煙性能
(特)	随時閉鎖式(熱・煙感知)特定防火設備
(特)s	随時閉鎖式(煙感知)特定防火設備 遮煙性能
(SS)	随時閉鎖式(熱・煙感知)特定防火設備シャッター
(SS)s	随時閉鎖式(煙感知)特定防火設備シャッター 遮煙性能
[防]	常時閉鎖式防火設備

【平面図】

2-2 床面積求積図・表の配置

2-1 申請面積の入力

区分	種別	計算式	面積(m ²)
5	容積率対象	3,297 × 1,280	4,220,160
6	容積率対象	2,200 × 4,470	9,834,000
7	容積率対象	21,000 × 7,000	147,000,000
8	容積率対象	22,000 × 2,800	61,600,000
9	容積率対象	24,500 × 4,100	100,450,000
A	容積率対象外	2,500 × 2,800	7,000,000
B	容積率対象外	4,100 × 4,100	16,810,000
容積率対象面積			319,120,160
容積率対象外面積			23,810,000
延焼面積			342,930,160

【面積求積図・表】

3-3 断面図の配置

3-2 階数・高さ確認

3-1 地盤面の算定

【断面図】

1 平面図

ここでは、凡例に沿った確認申請用の平面図を作成する操作を解説します。

1-1 部材のプロパティ設定

「凡例」の機能を使用すると、部材のプロパティが色分け表示され、正しく設定されているか確認が容易になります。凡例から部材のプロパティを割り当てることもできます。ここでは、凡例の使い方とプロパティの設定手順について解説します。

凡例からプロパティを確認する

表示を設定する

凡例を使って確認申請用の平面図を作成するときは、表示設定を「標準－確認申請平面図凡例用」に切り替えましょう。この設定を使用することで、確認申請図用の凡例で表示した際に、モデルの状態が確認しやすくなります。

凡例を参照した表示に切り替える

「専用設計ツール」タブの「凡例」をクリックして、テンプレートから「確認申請図用」の「平面図凡例」を選ぶと、部材のプロパティを参照して、凡例に設定されている内容で部材が色分け表示されます。

「標準－確認申請平面図凡例用」

「確認申請図用」の「平面図凡例」

塗りつぶし	緑色	省略記号	用途
			一般軌道スペース
			乗降階段スペース
			非該当スペース
			種別庫スペース
			役員待合スペース
			待機スペース
			収納スペース
			動線
			外廻り
			管理待機

ここに並んでいる部材が色分け表示される

3D ビューでも色分け表示

1 平面図

凡例とプロパティの関係

「塗りつぶし」～「省略記号」が図面表示の設定、それより右の項目が部材のプロパティになります。

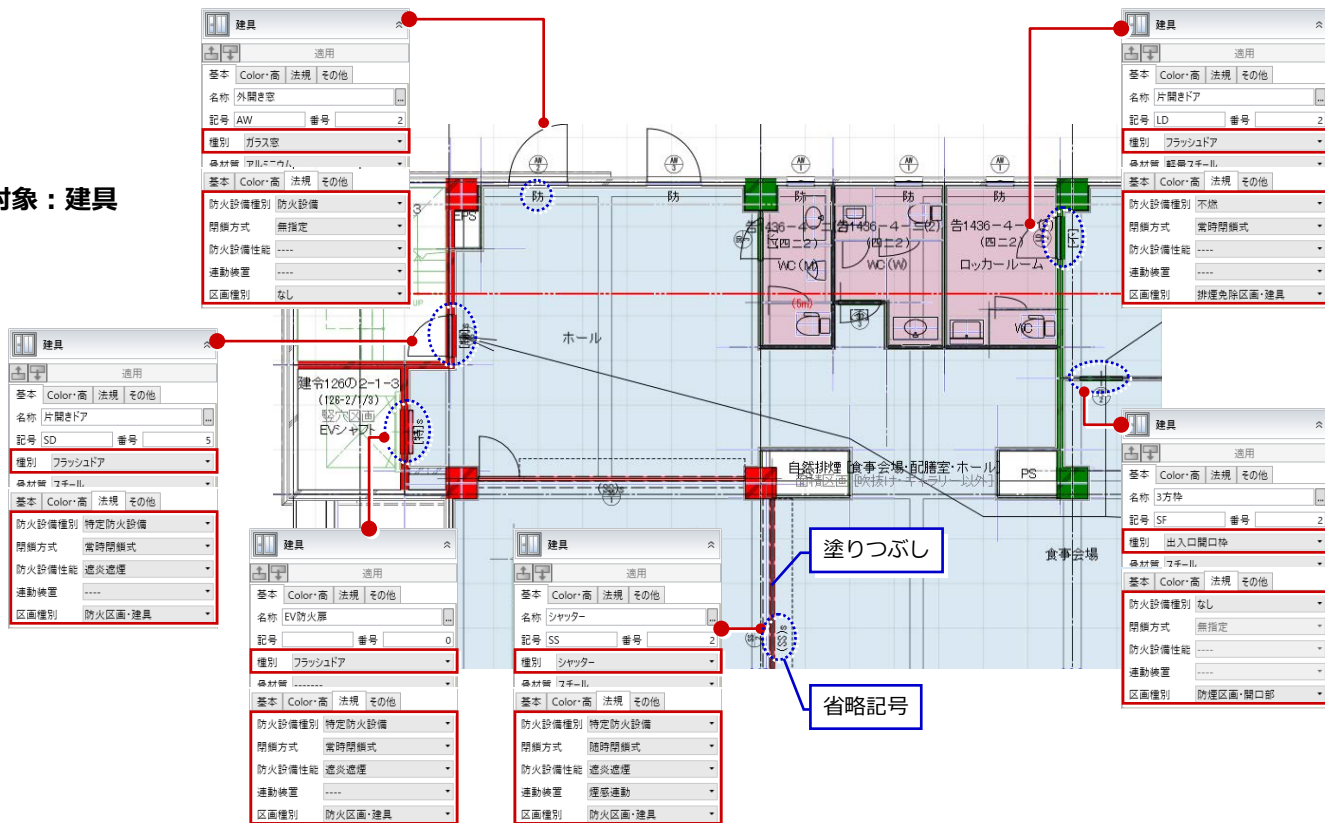
該当するプロパティの部材が存在するときは、旗マークが付きます。

部材のプロパティを参照して、塗りつぶしや省略記号が表示されます。「凡例」を終了すると、元の表示に戻ります。

対象：防煙区画

対象：柱、壁

対象：建具



凡例

確認申請適用 平面図凡例

塗りつぶし	緑色	省略記号	種別	防火設備種別	開鎖方式	防火設備性能	運動装置	区分種別
塗りつぶし	緑色	[特]	ガラス戸	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	----	なし
		[特]	フラッシュ戸	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	----	なし
		[特]	ガラスドア	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	----	なし
		[特]	フラッシュドア	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	----	なし
		[特]	ガラス戸	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	----	排煙免除区分画・建具
		[特]	フラッシュ戸	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	----	排煙免除区分画・建具
		[特]	ガラスドア	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	----	排煙免除区分画・建具
		[特]	フラッシュドア	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	----	排煙免除区分画・建具
		[特]	ガラス戸	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	----	防火区分画・建具
		[特]	フラッシュ戸	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	----	防火区分画・建具
		[特]	ガラスドア	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	----	防火区分画・建具
		[特]	フラッシュドア	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	----	防火区分画・建具
		[特]	ガラス戸	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎遮煙	----	なし
		[特]	フラッシュ戸	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎遮煙	----	なし
		[防]	出窓	防火設備	無指定	----	----	なし
		[不]	ガラス戸	不燃	常時閉鎖式	----	----	排煙免除区分画・建具
		[不]	フラッシュ戸	不燃	常時閉鎖式	----	----	排煙免除区分画・建具
		[不]	ガラスドア	不燃	常時閉鎖式	----	----	排煙免除区分画・建具
		[不]	フラッシュドア	不燃	常時閉鎖式	----	----	排煙免除区分画・建具
		[不]	ガラス戸	不燃	常時閉鎖式	煙感運動	排煙免除区分画・建具	
		[不]	フラッシュ戸	不燃	常時閉鎖式	煙感運動	排煙免除区分画・建具	

対象：カタログ建具

凡例

確認申請適用 平面図凡例

カタログ建具

塗りつぶし	緑色	省略記号	種別	防火設備種別	開鎖方式	防火設備性能	運動装置	区分種別
		[特]	ガラス戸	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	----	なし
		[特]	フラッシュ戸	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	----	なし
		[特]	ガラスドア	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	----	なし
		[特]	フラッシュドア	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	----	なし
		[特]	ガラス戸	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	----	排煙免除区分画・建具
		[特]	フラッシュ戸	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	----	排煙免除区分画・建具
		[特]	ガラスドア	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	----	排煙免除区分画・建具
		[特]	フラッシュドア	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	----	排煙免除区分画・建具
		[特]	ガラス戸	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	----	防火区分画・建具
		[特]	フラッシュ戸	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	----	防火区分画・建具
		[特]	ガラスドア	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	----	防火区分画・建具
		[不]	フラッシュドア	不燃	常時閉鎖式	----	----	排煙免除区分画・建具
		[不]	ガラス	不燃	常時閉鎖式	----	----	排煙免除区分画・建具
		[不]	ガラス戸	不燃	常時閉鎖式	煙感運動	排煙免除区分画・建具	
		[不]	フラッシュ戸	不燃	常時閉鎖式	煙感運動	排煙免除区分画・建具	

対象：ハイパーパーティション

凡例

確認申請適用 平面図凡例

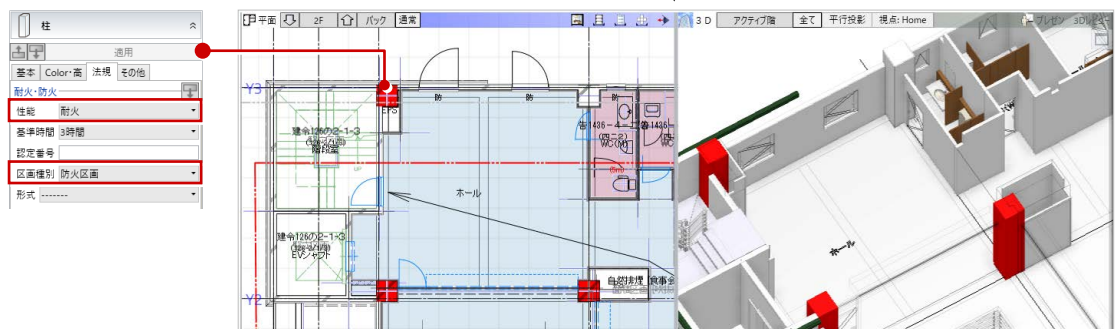
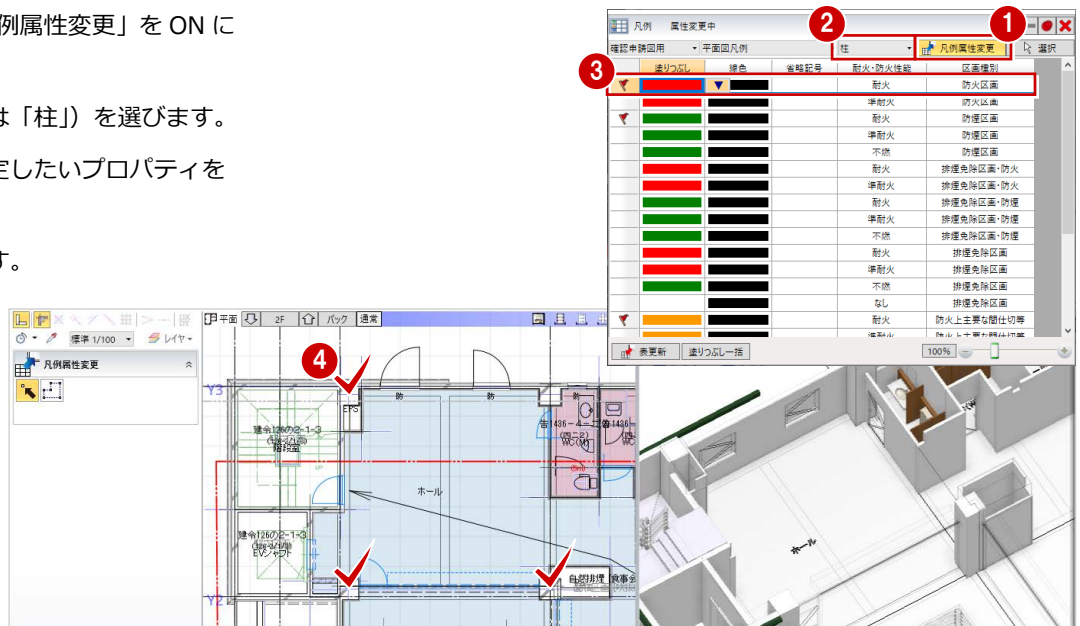
ハイパーパーティション

塗りつぶし	緑色	省略記号	法的種別	区分種別
		[特]	耐火	防火区分画
		[不]	不燃	防護区分画
		[耐火]	耐火	排煙免除区分画・防火
		[不燃]	不燃	排煙免除区分画・防護
		[なし]	なし	排煙免除区分画
		[耐火]	耐火	防火上主要な居住切等
		[不燃]	耐火	その他居住切等
		[不燃]	不燃	その他居住切等
		[難燃]	難燃	その他居住切等
		[なし]	なし	その他居住切等
		[耐火]	耐火	なし
		[不燃]	不燃	なし
		[難燃]	難燃	なし
		[なし]	なし	なし

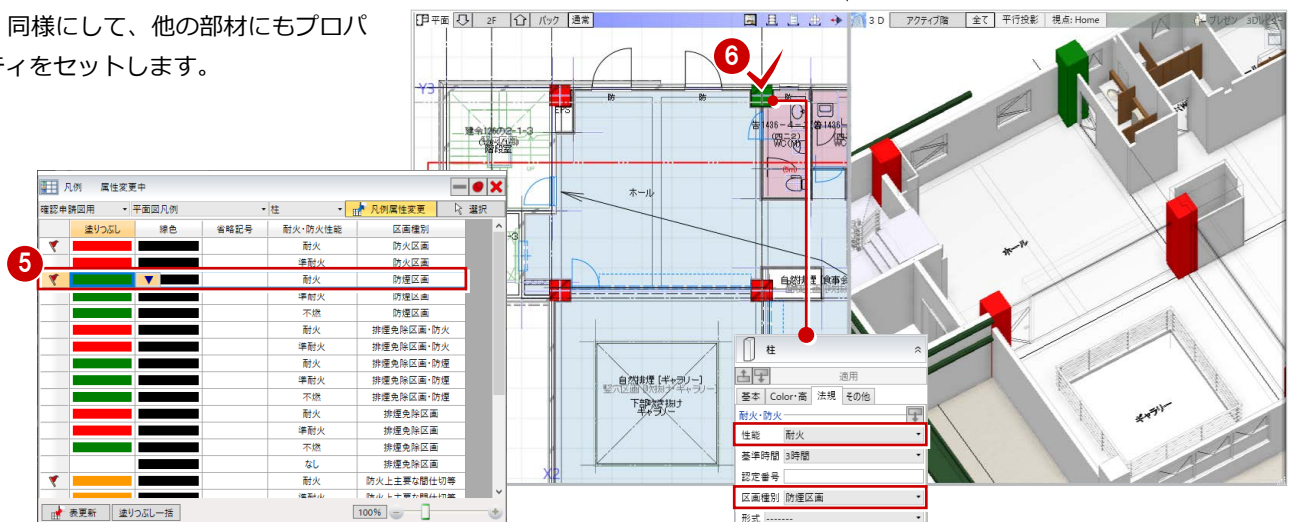
凡例からプロパティを変更する

部材のプロパティが正しく設定されていないと、塗りつぶしや省略記号が表示されません。
この場合は、凡例から部材のプロパティを変更することができます。

- ① 「凡例」パネルの「凡例属性変更」を ON にします。
- ② 対象の部材（ここでは「柱」）を選びます。
- ③ 凡例の一覧から、設定したいプロパティを選びます。
- ④ 部材をクリックします。



- ⑤⑥ 同様にして、他の部材にもプロパティをセットします。

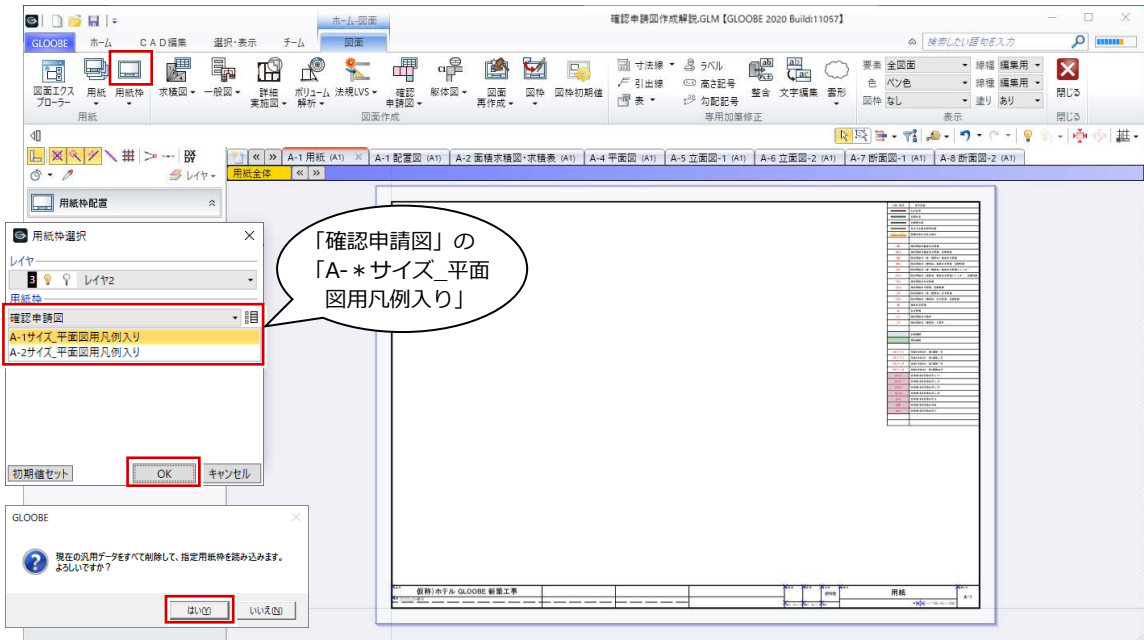


1-2 凡列表付き用紙枠の配置

図面・GLOOBE シートの「用紙枠配置」で、テンプレートから「確認申請図」の「A-*サイズ_平面図用凡列入り」を選ぶと、右側に凡列表がレイアウトされた用紙枠を配置できます。

凡列表を編集するときは、文字列や塗りつぶしを選択して、プロパティを変更してください。

【用紙枠の配置】



【凡列表の編集】



1-3 平面図の配置

確認申請用の平面図を作図するときは、「確認申請図」メニューの「平面図」を使用します。

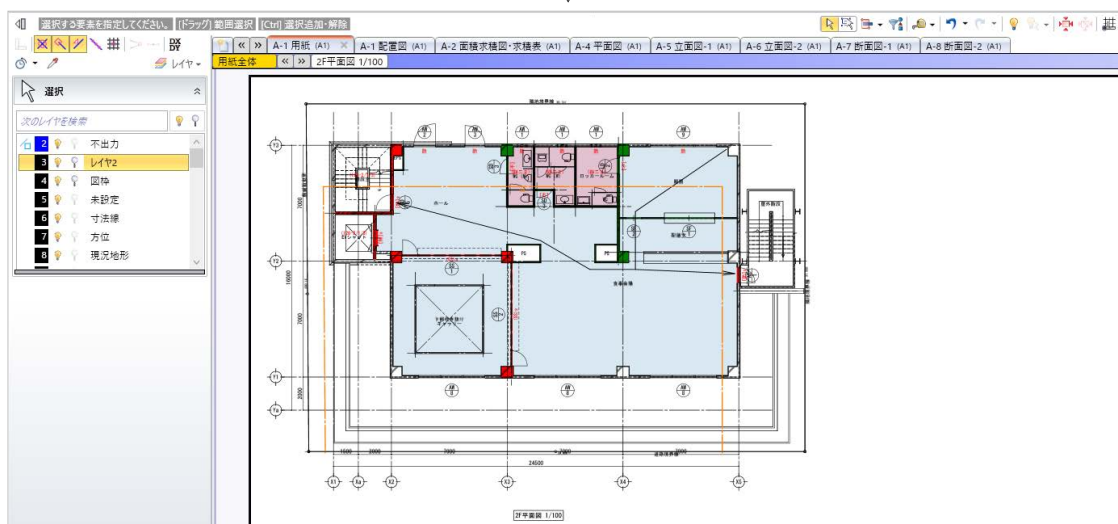
作図表現（凡例）で「凡例を使用する」をONにして「確認申請図用」の「平面図凡例」に設定しておくことで、部材の塗りつぶしと省略記号をモデルと同じ表現で作図できます。

「01_確認申請図」の「・・・平面図（凡例使用・・・）」と記載されているテンプレートは、この設定になっています。

「凡例使用」のテンプレート

「凡例を使用する」ON
「確認申請図用」の「平面図凡例」

分類	塗りつぶし	線色	省略記号	種別	排遣方式	免除理由
階レベル	なし	黒	(126-2/1)	排遣免除		建令126の2-1
	なし	黒	(126-2/1/1)	排遣免除		建令126の2-1-1
	なし	黒	(126-2/1/2)	排遣免除		建令126の2-1-2
専用加算	なし	黒	(126-2/1/3)	排遣免除		建令126の2-1-3
	なし	黒	(126-2/1/4)	排遣免除		建令126の2-1-4
寸法線・引出線						
建りつぶし						
			(四0)	排遣免除		告1436-4-0
			(四1)	排遣免除		告1436-4-1
			(四2)	排遣免除		告1436-4-2(1)
			(四3)	排遣免除		告1436-4-2(2)
			(四4)	排遣免除		告1436-4-2(3)
			(四市)	排遣免除		告1436-4-2(4)
文字その他						
文字						
マーク他						
省略記号						
レイヤ・パン	06 凡例文字	赤				
スタイル						
フォント	MS ゴシック					
サイズ	3.00 mm					
スタイル	<input type="checkbox"/> 太字 <input type="checkbox"/> 斜体					
飛越	1.00 mm					



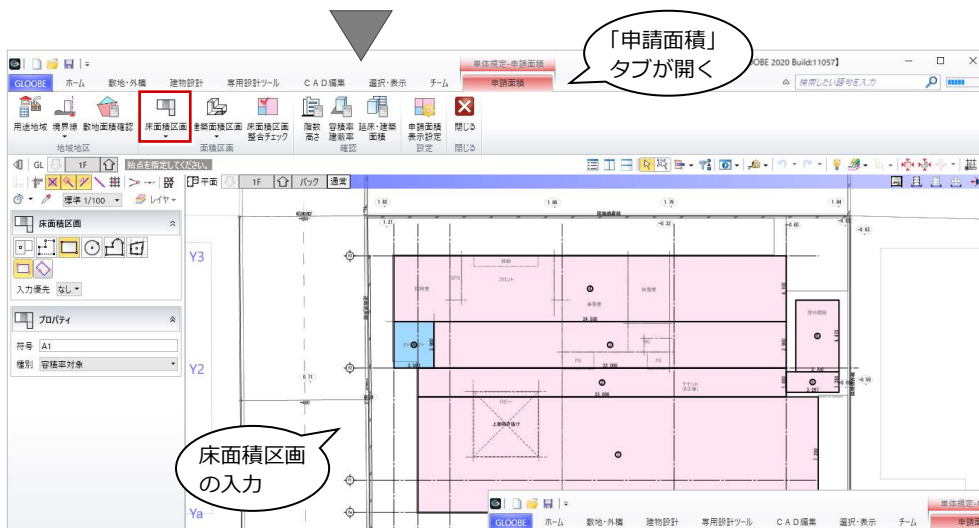
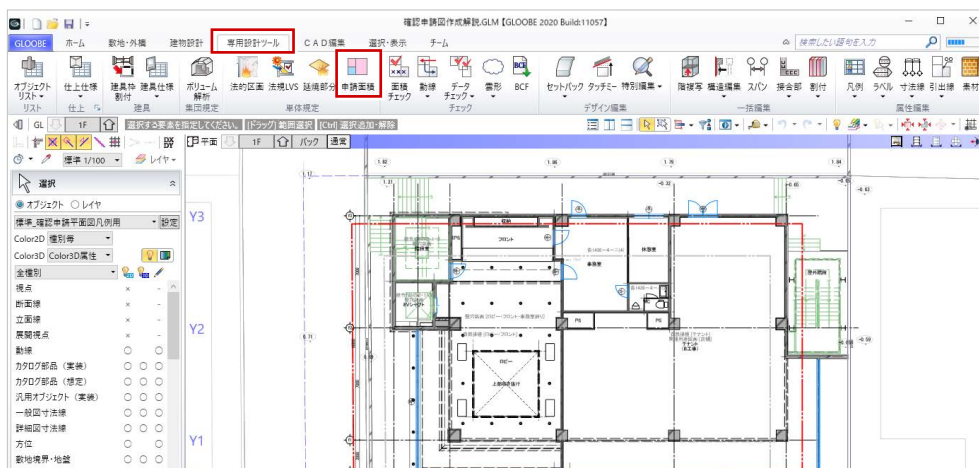
2 床面積求積図

ここでは、区画の種別ごとに色分けした床面積求積図・計算表を作成する操作を解説します。

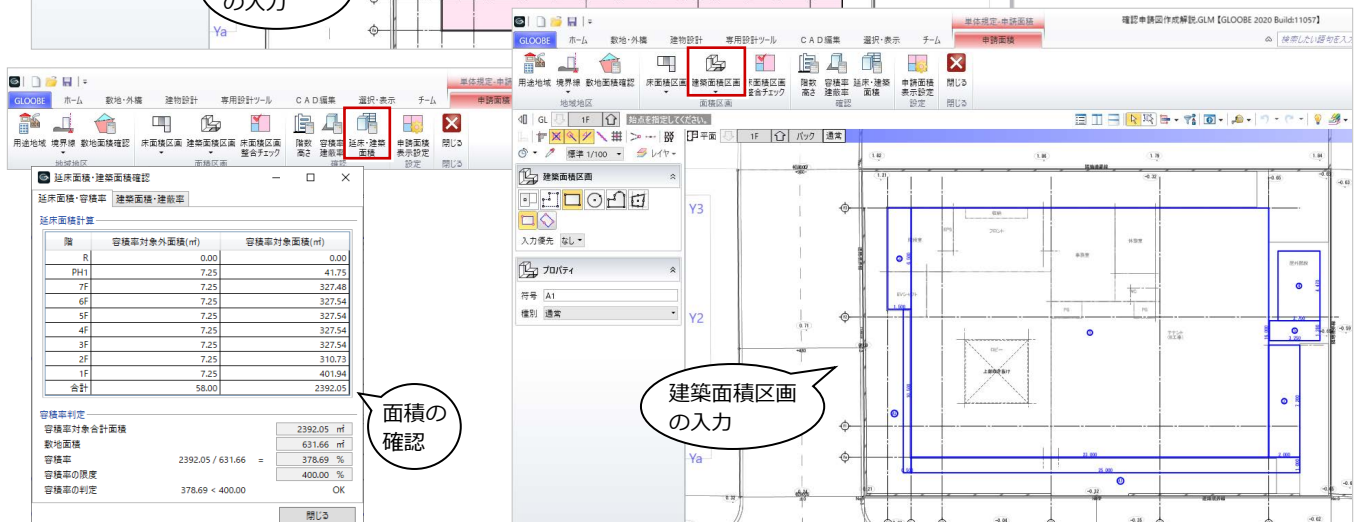
2-1 申請面積の入力

「専用設計ツール」タブの「申請面積」をクリックすると、建築面積・床面積区画を入力して、容積率、建蔽率、建物高さなどを確認する「申請面積」タブが開きます。

申請に必要な面積に関わる情報を、モデル構築段階でまとめて入力・編集することができます。

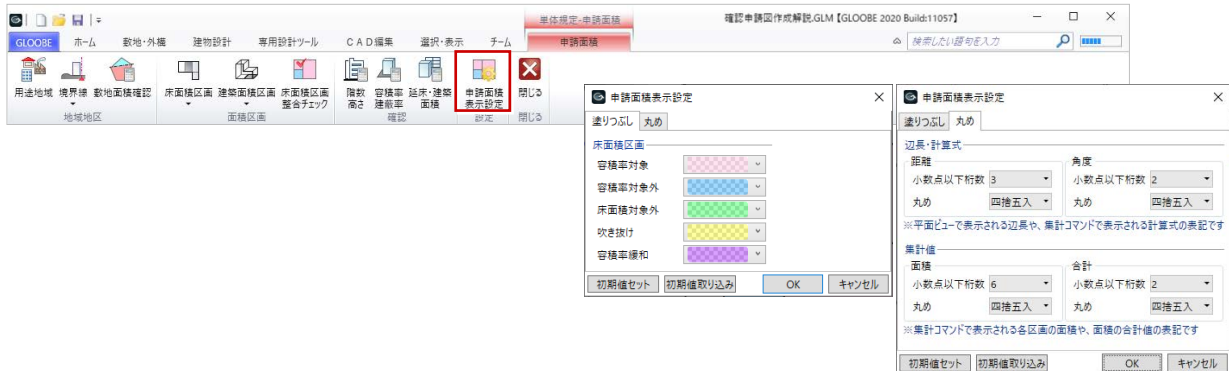


⇒ 各コマンドの操作方法は、ヘルプを参照してください。



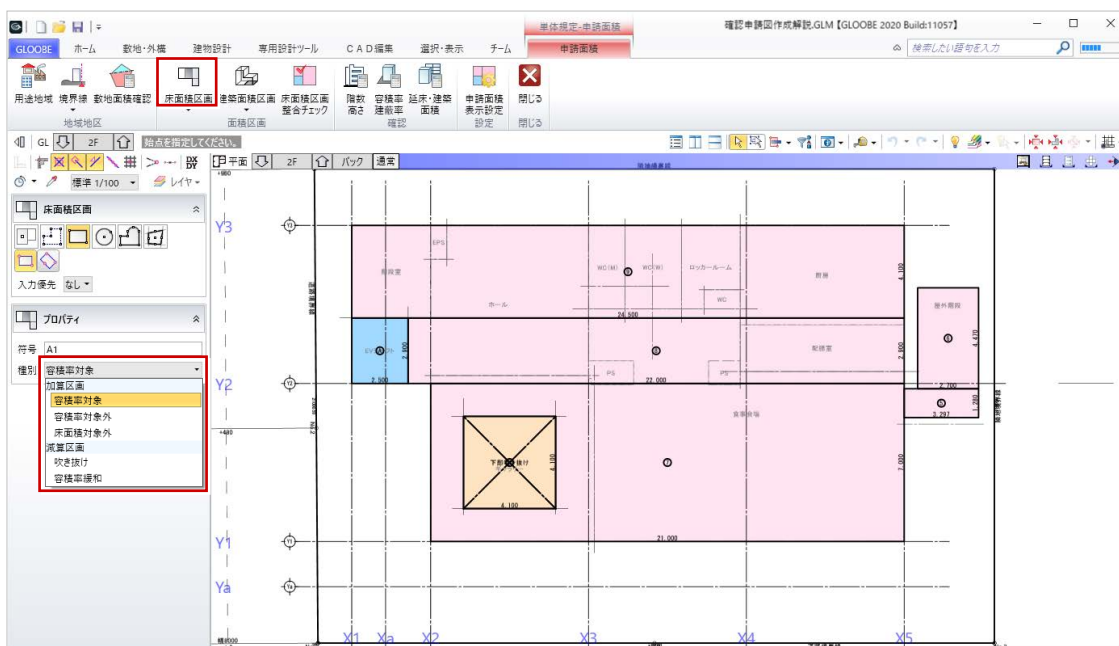
塗りつぶしや丸めを設定する

「申請面積」タブの「申請面積表示設定」で、床面積区画の塗りつぶしや距離・面積などの丸め方法を変更できます。この設定は、図面・GLOOBEシートで床面積求積図・計算表を配置するときにも使用されます。



床面積区画を入力する

「申請面積」タブの「床面積区画」をクリックし、「種別」を選んで区画を入力します。「申請面積表示設定」を参照して、種別ごとに色分け表示されます。



加算区画	容積率対象	容積率・床面積対象とする区画を入力します。
	容積率対象外	床面積のみ対象とする区画を入力します。 ※ EV シャフト、共同住宅の共用廊下など
	床面積対象外	容積率・床面積対象外とする区画を入力します（施工床面積）。 ※ バルコニーやポーチなど
減算区画	吹き抜け	吹き抜けの区画を入力します。
	容積率緩和	床面積から緩和する部分を減算区画として入力したい場合に使用します。

2-2 床面積求積図・表の配置

床面積求積図を配置する

床面積求積図の配置コマンドは「求積図」メニューにもありますが、「確認申請図」メニューの「床面積求積図」を使用すると、床面積区画の塗りつぶしや通り芯間寸法の自動描画、スペース線の作図も可能です。

作図表現（床面積区画）で「申請面積タブの表示設定を使う」を ON にすると、「申請面積表示設定」で設定した色分けや丸めが参照されます。「01_求積図」の「・・・(塗り有り・・・)」と記載されているテンプレートは、この設定になっています。

「塗り有り」のテンプレート

スペース線も作図可能

床面積区画を色分け

通り芯間寸法を作図可能

「求積図」メニューの「床面積求積図」

「確認申請図」メニューの「床面積求積図」

床面積計算表を配置する

「確認申請図」メニューの「階別床面積計算表」を使用すると、床面積区画の種別ごとにセルを色分けできます。作成階を複数指定して連続作図することもできます。

連続作図が可能

セルを色分け

「申請面積表示設定」の「丸め」タブと連動

階別	種別	計算式	面積(m ²)
5	容積率対象	3,287 × 1,280	4,220.160
6	容積率対象	2,700 × 4,470	12,089.000
7	容積率対象	21,000 × 7,000	147,000.000
8	容積率対象	22,000 × 2,800	61,600.000
9	容積率対象	24,500 × 4,100	100,450.000
A	容積率対象外	2,500 × 2,500	7,500.000
B	吹き抜け	4,100 × 4,100	16,810.000
容積率対象面積			310.73
容積率対象外面積			7.25
床面積訂正係数			0.00

3 断面図

ここでは、地盤面から「塔屋部分を除外した建物の最高の高さ」と「軒高」の寸法線が作図された断面図を作成する操作を解説します。

3-1 地盤面の算定

地盤面の高さを算定するには、「専用設計ツール」タブの「ポリウム解析」をクリックして、「地盤計算」タブのコマンドを使用します。「算定ポイント」で計算建物の外周上の点と地盤が接する高さを設定し、「地盤算定」で平均地盤高を算出すると、その結果が「敷地境界・地盤」のプロパティにセットされます。

The screenshot illustrates the workflow for calculating the ground level in GLOBE software. It shows the main interface with the 'Volume Analysis' tool selected, followed by the 'Ground Calculation' dialog where calculation points are set, and the 'Ground Determination' dialog where the average ground level is calculated. The final result is shown in the 'Ground Boundary/Ground' properties panel.

算定ポイントを入力して高さを設定

頂点	名称	高さ(mm)
1	1	-320.00
2	2	-320.00
3	3	-320.00
4	4	-320.00
5	5	-650.00
6	6	-650.00
7	7	-650.00
8	8	-650.00
9	9	-650.00
10	10	-650.00

平均地盤高を算定

算定基準レベル: -0.32 m **平均地盤高: -0.49 m** 算定表

プロパティにセットされる

敷地境界・地盤
 基本 Color
 高さ
 平均地盤高: -0.49 m
 地盤面表示
 地盤高さ

3-2 階数・高さ確認

「申請面積」タブの「階数・高さ確認」では、昇降機塔などの塔屋部分を階数や高さに算入するかどうかを判定し、地盤高を考慮した建物の「最高の高さ」と「軒高」を確認できます。

ここで計算した「最高の高さ」と「軒高」で、断面図に寸法線が作図されます。



階数・高さ確認

ペントハウス階算入判定

建築面積 $438.63 \text{ m}^2 \times 1/8 =$ 限度面積 54.83 m^2

階名称	水平投影面積	階数・高さ計算
PH1	49.00 m ²	不算入

階数

通常階 7 + ペントハウス階 0 = 地上階 7

地下階 0

高さ

最高の高さ	24342.40 mm
軒高	23292.40 mm
地盤面の高さ	-492.40 mm

エキスポート 閉じる

【PH 階の面積が
建築面積の 1/8 以内の場合】

階数・高さ確認

ペントハウス階算入判定

建築面積 $438.63 \text{ m}^2 \times 1/8 =$ 限度面積 54.83 m^2

階名称	水平投影面積	階数・高さ計算
PH1	73.50 m ²	算入

階数

通常階 7 + ペントハウス階 1 = 地上階 8

地下階 0

高さ

最高の高さ	26972.40 mm
軒高	26322.40 mm
地盤面の高さ	-492.40 mm

エキスポート 閉じる

判定が「算入」
の場合はペント
ハウス階を加算

【PH 階の面積が
建築面積の 1/8 を超える場合】

3-3 断面図の配置

断面図の配置コマンドは「一般図」メニューにもありますが、「確認申請図」メニューの「断面図」を使用すると、寸法線の追出し基準は「地盤面」固定になり、「階数・高さ確認」で計算した「最高の高さ」と「軒高」の寸法線が作図されます。

